

# 今後の中長期的な 厚生労働科学研究のあり方について

- 厚生労働科学研究に関する課題 ……P 1
- 来年度予算等要求に向けて早急にまとめる事項について（案）…P 2

## （付属資料）

- （1）今後の中長期的な厚生労働科学研究の在り方に関する専門委員会中間報告書（概要） ……P 4
- （2）イノベーション25 中間とりまとめ（概要） ……P 10
- （3）厚生労働科学研究費補助金又は競争的資金制度全般に  
対する総合科学技術会議の指摘事項又は問題提起について ……P 11
- （4）「平成19年度概算要求における科学技術関係施策の  
優先順位付け」対象施策一覧（厚労省） ……P 12
- （5）厚生労働省所管の研究機関 ……P 13
- （6）平成19年度科学技術関係予算（案）について ……P 14



# 厚生労働科学研究に関する課題

## 1 重要課題として議論を重ねるべき事項

- (1) 治験を含む臨床研究の推進について
- (2) 研究基盤整備のあり方について
- (3) 厚生労働省所管の研究機関における研究のあり方について
- (4) 国際協力・協調の推進のあり方について
- (5) 研究成果の社会・国民への還元方策について

## 2 来年度予算等要求に向けて早急にまとめる事項

- (1) 研究事業枠組みの整理・再構築について
- (2) 研究課題の設定・評価・採択について
- (3) 研究費の早期執行・使用の弾力化について

## 来年度予算等要求に向けて早急にまとめる事項について(案)

### 1. スケジュール

来年度予算等の要求に間に合わせるため、重要課題として議論を重ねる事項とは別に、以下のスケジュールで作業する。

- ・ 次回科学技術部会：見直し骨子案の提示→審議
- ・ 次々回科学技術部会：具体的見直し案の提示→審議

### 2. 検討の方向

#### (1) 研究事業枠組みの整理・再構築

- ・ 各部局の政策目標に合致するよう各研究事業の政策課題を整理
- ・ 政策別事業の枠組みに加え、研究方法の共通性に応じた適切な課題設定、評価、採択を行う

#### (2) 研究課題の設定・評価・採択

- ・ 研究方法別に行政官関与の度合いを整理
- ・ 臨床研究（トランスレーショナル研究を含む）・疫学研究等については、研究費・期間・人件費枠の拡大等規模の拡大と同時に、2段階評価等、より質及び行政的意義の高い研究を採択する仕組みを作る
- ・ 施策に直結する「事業の改善に関する研究」、「政策提案型の研究」等については、より行政との連携を密にする仕組みを作る

#### (3) 研究費の執行・使用

以下の事項について、研究者の視点に立ってより成果に結びつきやすい制度に改善していく。

- ・ 補助金執行事務の一層の早期化
- ・ 使用方法の弾力化
- ・ 人材育成（若手・疫学者等）
- ・ 研究における不正防止対策